

たにがしらっこだより 9号 R2.8.4

発行者 牛谷まゆみ



連日のように宮崎でもコロナウイルス感染者の人数が発表され、身近に迫っていることが伺えます。また梅雨が明けたと思うと、気温が上がり、猛暑が続いています。コロナウイルス感染症、熱中症、両方に気を付けていかなければなりません。家庭でも休みの日などに気を付けましょう。

◎片付けについて

子ども達の片付けがなかなか身につかないという話をよく聞きます。園でも子ども主体の保育になり、色々なコーナーの玩具類から遊びを選択し、自分で遊びを進めていくようになりました。たくさん積木やままごと道具がある中で、子どもは次々に出していきます。0.1歳児は箱の中の物をどんどんひっくり返し、職員はそれをまた箱に返すことをくり返しています。小さい子どもはひっくり返すことも遊びになりますので、大人はひたすら我慢です。それでも時々「入れてくれる？」と言うと、小さくても大人と一緒に入れてくれます。この繰り返しが大切だと思います。家庭でもなかなか片付かないと思うことがあるかもしれませんが、じっくり関わってあげましょう。

3歳以上児はというと、ケースに分けて入れられるようになってきました。また先日は自分たちで遊んだじゃぶじゃぶ池のブルーシートを大人が指示したわけでもないのに自分たちから片付け始めたとの嬉しい報告を担当がしてくれました。「片付けなさい」と言うのではなく、大人が行動で手本を示すことで、子ども達も少しずつ身につけているようです。

◎自分の力で

こども園ではいろいろなあそびのルールがあります。その中のひとつが、「自分の力で・・・」という事です。園庭にはボルダリングや、木、丸太渡りなど様々な挑戦できるものがあります。小さい子どもにとっては築山を登るというのもその一つと言えます。すべての基本は自分の力で行いますので、大人（保育者）は手を貸しません。時々『これ自分で登れたのかな？』と思う場面があり、そんな時はそばに丸太があったり、お友達が手伝ったりしているようです。自分の力で行うことで、自分の力が分かり、自分の限界もわかります。誰かに手伝ってもらって登ってしまうと、降り方もわからなかったり、次に行く時にケガに繋がったりします。最近は子ども達もこのルールがわかってきて、「自分でするんだよね」と言っています。達成感や満足感を味わえるのは、何度も何度も挑戦し、諦めずにやってできた時ではないでしょうか。それが人によって早かったり、遅かったりしますが、その子の発達の手助けとして見守りましょう。

◎お願い

- ・谷頭こども園では、一日を通して外での遊びを行っていますが（3歳以上児）、連日猛暑日が続く熱中症も心配されますので、午後の時間は室内での活動を多く取り入れることにしました。そこで心配されるのが、コロナウイルス感染症です。戸外ではマスクをはずして遊びますが、室内での活動はマスクが必要です。そう・きりん・ぱんだ組は毎日マスクを持たせてください。
- ・虫かごと、虫取り網について
現在家庭から虫かご等を持ってきてもらっていますが、8月からは園の物を使用しますので、家庭の物は家庭で使用して下さい。
- ・前回の便りでもお願いしましたが、家族の方がコロナウイルスに罹患した、濃厚接触者となった場合は、必ず園にお知らせください。また県外から親戚・知人等が帰省して交流があった場合にも必ずお知らせください。地域によっては登園を自粛して頂く場合があります。